

感動新聞 平成23年5月号 発行者 細川栄一

皆様、元気ですか？ 3D活動（出来る人が、出来ることを、出来る限り）やりましょう。
ビジネス経営の最前線で頑張っておられる方の役に立つ情報となればと思います。喜んで頂ければ幸いです。

アンパンマンの歌

皆さんご存知の歌「アンパンマンのマーチ」が東日本大震災の応援ソングとなっているようです。
やなせたかし氏の歌詞には、確かに「人類愛」が溢れています。

そうだ、うれしいんだ、生きるよろこび
たとえ、胸の傷が痛んでも
なんのために、生まれて
なにをして、生きるのか
こたえられない、なんて、そんなのいやだ
今を生きることで
熱いところ燃える
だから、君は行くんだ、ほほえんで
... ..（著作権保護のため、後は自分で検索してください）

やなせたかし氏は自分の戦争体験（従軍体験）があり、その中からの想いが歌詞に表現されている
のでしょうか。
他には、「手のひらを太陽に」という歌詞も彼が作詞しています。
「僕らはみんな生きている、生きているから歌うんだ.....」

あらためて、この「アンパンマンの歌」の歌詞を読んでも感動します。
今回の3.11 東日本大震災の後、我々日本人にとっての応援歌としては最高のような気がします。
アンパンマンの歌も、もともとは太平洋戦争の後、あの廃墟だった日本を復興して欲しいとの願い
を込めて書いた歌詞だったそうです。

あるインタビューでは、「究極の正義とは、ひもじいものに食べ物を与えることである」と述べて
います。
さらに主人公をアンパンにした理由を「外の皮はパン＝西洋、内側はあんこ＝純日本。見た目は西
洋でも心は日本人である。」と解説している。
かって、たびたび起こった「顔を食べさせることは残酷だ」という批判にも、「アンパンだから大
丈夫です」と冗談めかして反論していた。

空腹の者に顔の一部を与えることで、悪者と戦う力が落ちると分かっている、目の前の人を見捨
てることはしない。
かつそれでありながら、たとえどんな敵が相手でも戦いは放棄しない。
これらの点について「本当の正義というものは、決してかっこうのいいものではないし、
そしてそのためにかならず自分も深く傷つくものです」
と自身が絵本のあとがきで語っている。

（インターネット記事より抜きだし）

皆さん、いかがでしたか？
子供たちにも大人気な理由がわかります。
又、そのお母さんたちにも・・・このアンパンマンのマーチは大好評なんですね。
「正義」とは何なのか？
21世紀の日本にとって、3.11 東日本大震災という激変が起こって、
今一度原点から考え直す必要があると感じるのは私だけなのでしょうか？
「生きるとはどういうことか？」
「何のために生きるのか？」
一人ひとりの日本人が問われているような気がします。
いかがでしょうか？未来の為に考えてみましょう～！